

あきしま 市議会だより

No.278

令和4年(2022年) 1月31日

お も な 内 容

- 補正予算審査 (質疑) 1面～2面
- 一般質問 2面～5面
- 討論 3面
- 賛否の分かれたもの 4面
- 請願・陳情 5面
- 提出案件と結果、会議の開催状況、
これからの会議の予定 6面

編集:昭島市議会 議会運営委員会 発行:昭島市議会事務局 〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号 電話:042-544-4476 昭島市ホームページ <https://www.city.akishima.lg.jp/>

第4回定例会

子育て世帯への臨時特別支援事業を含む 一般会計補正予算

市議会議員の議員報酬等に関する条例の 一部を改正する条例(減額)

など9議案を可決(一般会計予算総額 488.1億円)

令和3年第4回定例会は、11月29日から12月15日までの17日間を会期として開かれました。市長から提出された議案のうち9件が可決され、昭島市基本構想については、特別委員会において審査を行い、継続審査となりました。また、一般質問は4日間にわたり16人の議員が行いました。

補正予算審査 特別委員会

- ◇開催日 12月6日
- ◇委員長 高橋 誠
- ◇副委員長 奥村 博
- ◇委員数 20人
- ◇(正副議長を除く)
- ◇審査結果 原案可決

各会派の主な質疑 (質疑順に掲載)

日本共産党昭島市議団

質問 新型コロナウイルスワクチン接種について、①個別接種の予約が取れないと聞いた。医療機関の集団接種への協力等によるものと、このことが、現時点で、予約が取れるように克服されているのか。②現在の個別接種件数を把握していないとのことだが、把握すべきでは。

答弁 ①予約が困難な医療機関と接種の拡充等について調整を図る中で、各医療機関が予約枠の増などを行った結果、現在は対応ができています。②必要性は認識しており、今後、各医療機関に確認し、実績を把握していく考えである。

質問 障害児通所給付費は、

障害者の方が通所する施設に対するものなのか。

答弁 児童発達支援、放課後等デイサービスなどの事業所に対する給付費である。

質問 コロナ禍において、学校教育のICT化が進んできているが、学校教育向けのシステムの利用者情報を、教育産業などの企業に流出しないようにすべき。

答弁 第三者に情報を提供しないことが基本的な考えであり、照会があった場合は、法律や社会的な取り組みの方向性を確認した上で、考えていく。

無 会 派

質問 学校保健特別対策事業について、大型ディスプレイ等を整備することのことだが、各学校において、触れずに消毒や体温計測できる備品は充実しているのか。

答弁 学校が要望しているものを今回選定したので、それ以外のものは充足していると考えている。

質問 ファイザーとモデルナの2種類の新型コロナウイルスワクチンが供給予定の中、ファイザーを継続希望する人が多いと思うが、考えは。

答弁 国で交互接種が承認された状況である。それぞれのワクチンで取り扱いが違いため、適切な管理を行う中で、準備を進めていく。

質問 市としての要望や折衝等によりこれだけの国庫支出金や都支出金を引き出してきたと考える。所見は。

答弁 国や都が市の事業計

画を確認して予算が配当されることから、新型コロナウイルス感染症対策の独自事業を含め、どのような事業ができるか検討している。

質問 重症心身障害者施設の見直しについて、報酬の定員を増やす場合、報酬単価について、臨機応変な解釈をするよう、都に意見すべきと考えるが、所見は。

答弁 事業者には都に相談するように伝えている。

質問 学校の大型ディスプレイ等を協働的な学びに使う視点は重要だが、全校で共有されているのか。

答弁 ICT担当者連絡会で、今後の方向性の確認や、活用状況を考慮している。

質問 なしのき保育園の空調機器が大規模改修を待たず、修繕になった経過は。

答弁 令和8年に大規模改修の計画だったが、想定より早く故障したためである。

質問 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種では、集団接種と個別接種をどのように組み合わせるのか。

答弁 アキシマエンスの体育館は集団接種で使用予定であり、個別接種等は医師会等と調整中である。

自由民主党昭島市議団

質問 3回目のコロナウイルスワクチン接種において、①職住近接の取り組みの観点から、市内在住の医療従事者を優先的に採用することは可能か。②インターネッ卜予約は高齢者等にとって難しいため、予約の際の

予算の補正状況

一般会計(第6・7・8号)

当初予算	431億4500万円
前回までの補正額	44億5870万円
専決補正額(第6号)	1億8050万円
今回補正額(第7号)	3億5010万円
今回補正額(第8号)	6億8000万円
予算総額	488億1430万円

2面下段へ続く

質問 主権者教育について、必要な部分については、研究・検討していく。年度の計画や長期的な計画においても、子どもの視点をどのようになかしていかたい。②子ども議会を定期的に開催しては。③公園は、子どもを含めた近隣住民との合意形成の場を設けた上で運用すべき。④子ども、若者の意見聴取や参加を各種計画で位置付ける考えは。

答弁 ①校則の見直しは生徒の主体的な取り組みが大切と考える。②毎年開催することには困難性がある。子どもの意見を聞く場について、研究していく。③ワークショップ等の開催は実施していないが、届いた意見などは参考にしている。④各計画で子どもの視点が

を盛り込んで。①不動産の専門家。②空家家。③空家家。④空家家。⑤空家家。⑥空家家。⑦空家家。⑧空家家。⑨空家家。⑩空家家。⑪空家家。⑫空家家。⑬空家家。⑭空家家。⑮空家家。⑯空家家。⑰空家家。⑱空家家。⑲空家家。⑳空家家。㉑空家家。㉒空家家。㉓空家家。㉔空家家。㉕空家家。㉖空家家。㉗空家家。㉘空家家。㉙空家家。㉚空家家。㉛空家家。㉜空家家。㉝空家家。㉞空家家。㉟空家家。㊱空家家。㊲空家家。㊳空家家。㊴空家家。㊵空家家。㊶空家家。㊷空家家。㊸空家家。㊹空家家。㊺空家家。㊻空家家。㊼空家家。㊽空家家。㊾空家家。㊿空家家。

新型コロナウイルス感染症の再発の感染爆発と医療崩壊を起こさないためには、検査体制の構築を重点課題として取り組むべき。②国は無料PCR検査の実施の方向性を示している。国や都の動向に注視し必要な対応に努めていく。

質問 2050年二酸化炭素排出ゼロ実現に向け、総力を挙げて取り組むことが重要と考えるが、対応は。

答弁 市が率先して実現に向けて取り組むとともに、

市民一人ひとりに当事者意識を持ってもらえるよう、啓発に努めていく。

質問 美堀町二丁目地内にた東京2020オリンピックパラリンピックにおける国土地を含んだ狭隘道路の解消に向けた対応は。

答弁 国と調整を図る中で、

対し、早期に市民への説明等を行うよう求めている。

質問 コロナ禍に開催された東京2020オリンピックパラリンピックにおいて、①感染拡大防止のため、市に関連するイベントが一部中止や当初とは別の方法で実施となったが、どのように評価するのか。

答弁 ①市が集大成としてきた学校連携観戦は中止となったが、五輪教育の取り組みの成果は。

①感染が拡大する中、結果としてベターな選択であったと判断している。②各学校で視聴観戦する機会等を工夫したことで、かけがえのない体験を児童・生徒の心に残せたと思えている。

質問 昭島駅北側地域の開発計画について、多くの市民より不安の声を聞いている。現状と対応は。

答弁 物流施設を中心とする開発が検討されていると聞いており、開発事業者に

1面下段より

況は。②タクシー利用助成が接種率の向上に少なからず寄与したのではないかと考えるが、3回目ワクチン接種において、利用助成を継続的に実施する考えは。

答弁 ①延べ人数は1万2千805人、助成額は1千508万9千700円である。②3回目の接種についても60歳以上の方、基礎疾患のある方、身体障害者手帳の所持者を対象に、自己負担額を500円として、利用助成を実施する予定である。

質問 新型コロナウイルスワクチン接種について、1回目の申し込みの際は、電話やインターネットでの予約が殺到する状態になったこともあった。3回目の申し込みの際は、どのような方法で対応するのか。

答弁 会場等の調整を含め、他自治体の動向を注視し、本市にとってふさわしい対応方法を検討していく。

質問 なしのき保育園空調機器等設置工事について、財源として防衛省の補助金を活用しなかった理由は。

答弁 緊急的な対応を要し、防衛補助を活用することが困難であり一般財源とした。

に合っているか、ニーズがあるかなどを検討している。

質問 共同生活援助給付費について、①グループホームの増設に向けた今後の計画は。②就労継続支援B型事業所で働く方の仕事を確保するための取り組みは。

答弁 ①複数の企業から相談を受けており、令和4年1月には新たに1施設が開設予定である。②物品の優先調達などを行っている。

質問 学校保健特別対策事業費について、①サーモグラフィーカメラは、どの中学校に設置するのか。②今後補助金が活用できる際は、ICT環境を整備しては。

答弁 ①全中学校に1台ずつ設置する。②今後も国の補助等を活用し、学校の状況を踏まえ、より良い教育環境を整備していく。

質問 令和4年4月から、初めて保育園で医療的ケア児を受け入れるとのことだが、いじめなどが懸念される。受け入れ体制や研修会についての考え方は。

答弁 医療従事者等を講師として勉強会を毎月行っている。在園児や保護者への周知・説明について、保育園と一緒に考えていきたい。

質問 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種について、①郵送される書類が複数ある場合は分かりますか。②市職員が市立会館に出張し、高齢者等のインターネット予約の支援をしては。

答弁 ①市民に分かりやすい説明となるよう調整を図っている。②今後どのような支援等が必要になるのかも含め、検討していきたい。

一般質問 (要旨)



「ひのよーじん」
(出初式)

質問 地域保健法による統廃合により市内にあった保健所が無くなり、感染症対応に極めて脆弱だったということが明らかになった。保健所の設置についての必要の認識は。

答弁 保健所の出先機関を配置するなど、迅速な対応が取れる体制の整備について、都に要望した。

質問 障害者の生活を地域全体で支えるため、①大神町四丁目の市有地が地域生活拠点の整備候補地となっているが、地域支援協議会からどのような意見が出ているのか。②基幹相談支援センターの設置について、直営で検討しているのか。③外出が困難な障害者が充実した日常

生活を送るための身体介護者の移動支援事業の報酬単価が若干上がったが、まだ不十分だと考える。引き上げについての考えは。

答弁 ①土地や施設の特性を踏まえた施設整備が可能か、また、市有地の活用以外でどのような整備ができるのか、議論してもらった。

質問 専念できる職場に向けて、旧規定から労働安全衛生管理規定へと改めたが、①学校統括衛生推進会議は定期的に開催するのか。

答弁 ①回数は決まっているが、教職員が子どもと向き合う時間を確保して、学校教育活動の質を維持・向上できるように開

催していく。②どのような取り組みが可能か検討していきたい。

質問 学校教職員が教育に

が、実状は。

質問 コロナ禍のもと、市民の暮らしを守ることに

いて、①国の経済対策は、生活に困っている人の多くが対象から外れるなど、対応に疑問を感じる。市が進める市内事業者応援金第3弾は、対象となる事業者の把握をどのように行っているのか。②就学援助制度を拡充するよう検討すべき。③生活保護における面接相談は市民が安心できる丁寧な説明や対応が求められるが、実状は。

質問 国民健康保険制度に

答弁 高性能シミュレータを用いたオートローテーション訓練を実施しており、当該シミュレータにより両エンジン出力喪失時等の緊急降訓練は可能と、国からの影響による減免の特例措置が受けられない状況が生

置が受けられない状況が生

質問 オートローテーションのないオスプレイは危険では

答弁 止時は大変危険と考えるが、実状は。

質問 障害児通所給付費について、放課後等デイサービス事業を利用する児童数が毎年増加している状況にあるが、今後の考え方は。

答弁 行ったくても行けない日があるなどの声を聞いている。事業者から相談があった際、その内容が地域

にあった場合、その内容が地域

質問 公明党昭島市議員

答弁 ①市民に分かりやすい説明となるよう調整を図っている。②今後どのような支援等が必要になるのかも含め、検討していきたい。

も含め、検討していきたい。

質問 コンピュータを上手に活用していく力を身につけることは、これからの社会を生きていく子どもにとって重要な事項になっていく。①小中学校におけるプログラミング授業の指導者の不足が課題である。指導者向けアプリの活用等、民間企業と連携した取り組みについて、考えは。②コロナ禍の中でハイブリッド授業になった際、一定数の子どもが教室でWi-Fiを使っているが、最大何台まで接続ができるのか。また、回線を増やす予定は。③安全や費用面などの課題があり、先行自治体を調査・研究していき

無会派 八田 一彦 議員

昭島市のGIGAスクール構想について

答弁 国や都の取り組みとの連携や活用を視野に入れながら、市のデジタル化の取り組み等を踏まえ、設置に向けた検討を進めたい。

質問 時代が多様化し、社会で多彩な才能が求められる中、競争などに始まり、個性や才能を伸ばす取り組みが重要である。不登校等により進路に悩みを抱える子どもや保護者にとって、定時制・通信制高校への進学は進路における充実した希望ある選択肢のうちの1つである。立川市が主催している合同学校相談会など、定時制・通信制高校などが一堂に会して開催する合同学校相談会が有効な施策と考える。立川市と調整を図り、協力による参加に向け、検討していく。

公明党昭島市議員 渡辺 純也 議員

子どもたちの選択肢を増やす取り組みについて

答弁 不登校や不登校傾向にある子どもとその保護者にとって、中学校卒業後の開業予定のTOKYO GLOBAL GATEWAYは、実践的な英語教育を受けることのできる体験型学習施設である。昭島市からも近くて利用しやすい。全児童・生徒がこの施設を体験できるような取り組みを推進したい。

未成年者への新型コロナワクチン接種について保護者への情報提供及び新型コロナワクチン接種の有無からの差別をしないことを求める陳情を不採択とする委員長報告について

反対

林 まい子 議員

現時点で10代においては、新型コロナウイルス感染症の罹患による重症者数、死亡者数より、ワクチンの副反応疑いによるそれぞれの報告件数の方が多く、このことは接種判断にあたり、重要な情報である。また、各地で未接種が原因となる差別が生じており、今後、接種機会が増えるほど、その差別が強まる危険性がある。自治体として、学校や職場で差別がないよう周知徹底を図り、更なる注意喚起を行うなど、具体的な取り組みも必要である。今後、3回目の接種、接種対象年齢の引き下げも控えている中、これまで以上に十分な情報提供、差別を気にせず自由選択できる環境を担保しない限り、真の任意接種とはならないと考え、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

一般質問 (要旨)



華やかに、にこやかに (成人式)

質問 教育について、学力の向上のためには、学ぶことは楽しい、学校は楽しいと心から思える環境づくりをすることが大事と考える。児童・生徒に学ぶ楽しさを教えることができる教員を育成するための教育委員会としての取り組みは。①給電設備の増設など、導入コスト以外の課題を整理しながら、積極的な切り替えを検討していく。

答弁 ①給電設備の増設など、導入コスト以外の課題を整理しながら、積極的な切り替えを検討していく。

質問 昭島つじが丘ハイッの北側地域の開発について、民間ゴルフコースなどが売却され、物流センター等が建設されるとい話を聞く。民間企業であるため、行政ができることは限られているが、市民生活に大きな影響を及ぼすことは間違いない。①民間ゴルフコース、都など関係機関と連携を図り、対応していく。②現在、市が発展していく上では、若者の人口流出を食い止めることは大切であり、今後進めていく。

自由民主党昭島市議員 高橋 誠 議員

昭島つじが丘ハイッの北側地域の開発について

答弁 ①現在、昭島つじが丘ハイッの北側地域の開発について、民間ゴルフコースなどが売却され、物流センター等が建設されるとい話を聞く。民間企業であるため、行政ができることは限られているが、市民生活に大きな影響を及ぼすことは間違いない。①民間ゴルフコース、都など関係機関と連携を図り、対応していく。②現在、市が発展していく上では、若者の人口流出を食い止めることは大切であり、今後進めていく。

日本共産党昭島市議員 佐藤 文子 議員

新型コロナウイルスは、接種による感染予防の効果が副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思で接種を受けるものである。よって、市に対し、ワクチンに関わる情報を迅速かつ積極的に提供することを求めることは、当然の願いである。また、国には未接種者への差別を禁止した法律がなく、具体的な指針が示されていない。自治体が率先して差別を禁じる訴えを発信し続け、具体的な手立てを講じることが、重要である。無症状感染者が増える中、ワクチン接種ができない人への感染を防ぐためにも、検査を重視することが欠かせない。これまで以上の検査体制の強化・拡充の必要性を改めて強調し、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

質問 脱炭素社会の実現を目指すことを、国が宣言した。①電気自動車を庁用車に積極的に活用すべきだが、考えは。②市民への電気自動車購入の補助制度を導入

公明党昭島市議員 大島 ひろし 議員

教育について

答弁 ①国や都の動向を注視し、財源の確保を図りながら、効果的な取り組み方法を検討していく。②引き続き、様々な関係機関と連携を図りながら、地域課題の解決に向け、調査・研究していく。

質問 昭島つじが丘ハイッの北側地域の開発について、民間ゴルフコースなどが売却され、物流センター等が建設されるとい話を聞く。民間企業であるため、行政ができることは限られているが、市民生活に大きな影響を及ぼすことは間違いない。①民間ゴルフコース、都など関係機関と連携を図り、対応していく。②現在、市が発展していく上では、若者の人口流出を食い止めることは大切であり、今後進めていく。

自由民主党昭島市議員 高橋 誠 議員

昭島つじが丘ハイッの北側地域の開発について

答弁 ①現在、昭島つじが丘ハイッの北側地域の開発について、民間ゴルフコースなどが売却され、物流センター等が建設されるとい話を聞く。民間企業であるため、行政ができることは限られているが、市民生活に大きな影響を及ぼすことは間違いない。①民間ゴルフコース、都など関係機関と連携を図り、対応していく。②現在、市が発展していく上では、若者の人口流出を食い止めることは大切であり、今後進めていく。

日本共産党昭島市議員 佐藤 文子 議員

新型コロナウイルスは、接種による感染予防の効果が副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思で接種を受けるものである。よって、市に対し、ワクチンに関わる情報を迅速かつ積極的に提供することを求めることは、当然の願いである。また、国には未接種者への差別を禁止した法律がなく、具体的な指針が示されていない。自治体が率先して差別を禁じる訴えを発信し続け、具体的な手立てを講じることが、重要である。無症状感染者が増える中、ワクチン接種ができない人への感染を防ぐためにも、検査を重視することが欠かせない。これまで以上の検査体制の強化・拡充の必要性を改めて強調し、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

質問 学校現場には、不登校やいじめ、子どもの学力格差など、課題は山積しており、解決策の1つとして、学級の少人数化がある。少人数による細やかな指導のための教室の確保や教員の配置について、中長期的な視点に立つて、具体的な課題認識を持ち、現在の教育サービスを下下させることなく実施する必要があると考えるが、見解は。

答弁 35人学級への移行に向け、安全・安心に対応するための教室の確保など、学習環境の整備を計画的に実施し、移行を円滑に進めていく。

質問 いじめなど、子どもをめぐることが複雑化する中、国は、学校現場に助言

本会議インターネット中継をご覧ください

市議会では、より身近に議会の活動を知っていただくため、本会議の映像をインターネットで配信しています。パソコン・スマートフォンなどからご利用いただけます。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。

○ライブ中継
本会議の開催中に配信

○録画 中継
本会議の各開催日の概ね5日後の午後（土・日・祝日を除く）から配信

QRコード

昭島市議会

検索

本会議において賛否の分かれたもの								
○は賛成 ×は反対								
件名	無党派			自由民主党昭島市議団			採決の結果	
	(1)	(1)	(1)	(7)	(5)	(3)		
昭島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○2欠席1	可決	
未成年者への新型コロナワクチン接種について保護者への情報提供及び新型コロナワクチン接種の有無からの差別をしないことを求める陳情	×	×	×	×	×	○	不採択	

傍聴される方へのお願い

昭島市議会では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、傍聴される際には、以下の4点にご協力をお願いしております。

1. 受付時に非接触式体温計による検温を行います。
2. マスクの着用をお願いします。
3. アルコール消毒液での手指消毒をお願いします。
4. 傍聴席では間隔を空けて着席をお願いします。

傍聴席の間隔を空ける対応のため、傍聴席を削減しております。
傍聴を希望される方が席数を超過した場合は、傍聴をお断りすることがあります。
ご理解とご協力をお願いします。

会議録をホームページで閲覧できます

会議録検索システムにより、平成7年5月から令和3年10月までの本会議会議録、委員会記録、協議会記録をご覧になれます。
なお、第4回定例会の記録は2月下旬に掲載する予定です。
昭島市議会ホームページよりご利用ください。



これからの会議の予定 2月～4月

定例会前

開催日	開催時間	会議名	場所
2月10日(木)	午前9時30分	総務委員会・総務委員協議会	会議室402・403
2月14日(月)		厚生文教委員協議会	
2月15日(火)		建設環境委員協議会	
2月16日(水)	特別委員会		
2月17日(木)			
2月18日(金)	午前9時30分	議会運営委員会	

第1回定例会

※インターネット中継を実施

開 催 日	開 催 時 間	会 議 名	場 所
2月28日(月)	午前 9 時30分	本会議(施政方針表明・議案上程)＊	議場
3月2日(水)		本会議(代表質問)＊	
3月3日(木)		本会議(一般質問)＊	
3月4日(金)		本会議(一般質問)＊	
3月7日(月)		本会議(一般質問)＊	
3月9日(水) ～15日(火) (土・日を除く)		予算審査特別委員会	会議室402・403
3月16日(水)		総務委員会	
3月17日(木)		厚生文教委員会	
3月22日(火)		建設環境委員会	
3月23日(水)		特別委員会	
3月24日(木)			
3月28日(月)	午前 9 時	議会運営委員会	
	午前 9 時30分	本会議(委員会審査報告・採決)＊	
	本会議終了後	全員協議会	

定例会後

開催日	開催時間	会議名	場所
4月中旬	午前9時30分	議会運営委員会	会議室402・403

- ◇第1回定例会で審査を希望する請願等は、2月14日(月)午後5時までに提出をお願いします。
- ◇第1回定例会の初日(2月28日)は、傍聴席において、市長の施政方針表明等の手話通訳を行う予定です。

傍聴を希望される方は、市役所4階の議会事務局の窓口までお越しください。
日程等、変更になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

議会事務局 電話042-544-4476(直通)



- 可決
- ▽令和3年度昭島市一般会計補正予算(第7号)
- ▽令和3年度昭島市一般会計補正予算(第8号)
- ▽職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- ▽市道路線の廃止について(南375号)
- ▽昭島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 承認
- ▽専決処分の承認を求めることについて(令和3年度昭島市一般会計補正予算・第6号)
- 継続審査
- ▽昭島市基本構想
- ※令和3年度予算の補正状況の詳細は1面に掲載。
※陳情の審議結果は5面に掲載。

定例会後

1月14日
議会運営委員会

15日
議会運営委員会・本会議

13日
立川基地跡地利用対策特別委員会

10日
交通機関改善対策特別委員会

9日
建設環境委員協議会

8日
厚生文教委員協議会

7日
総務委員会・総務委員協議会

12月6日
補正予算審査特別委員会

11月30日～12月2日
本会議

11月29日
議会運営委員会・本会議

第4回定例会

19日
議会運営委員会

17日
基地対策特別委員会

16日
建設環境委員協議会

15日
厚生文教委員協議会

11月12日
総務委員協議会

定例会前

提出案件と結果

会議の開催状況

ご利用ください
声の市議会だより
点字市議会だより

目の不自由な方に、市議会の活動をよりよく知っていただくため、声の市議会だより・点字市議会だよりを発行しています。
ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

小学生が
本会議を傍聴
社会科の授業の一環として、小学校6年生(共成小学校、成隣小学校)が、本会議を傍聴しました。



基地対策関係施策に関する予算確保等を国へ要望

全国の基地関係208市町村議会が加盟する全国市議会議長会基地協議会として、令和4年度基地対策関係予算確保等を目的とした、騒音防止事業などの基地対策関係施策の充実・強化に関する要望を、11月26日に国(防衛省)に行いました。昭島市議会からは、同協議会副会長の三田俊司議長が参加しました。

防衛省にて岸防衛大臣へ要望書を提出(全国市議会議長会基地協議会の会長、副会長及び相談役である市議会議長)※撮影時のみ、マスクを外しています。

